



個別案件(専門家)

2018年05月17日現在

本部/国内機関 :地球環境部

## 案件概要表

案件名	(和)ラプラタ川沿岸部の水銀モニタリング・環境対策支援 (英)Diagnosis of actual situation and Action Plan design for the remediation of costal strip of La Plata River having an environmental burden of mercury sediments in the riverbed of the river area.
対象国名	ウルグアイ
分野課題1	環境管理-水質汚濁
分野課題2	
分野課題3	
分野分類	計画・行政-行政-環境問題
プログラム名	プログラム構成外
援助重点課題	-
開発課題	-
協力期間	2015年08月01日 ~ 2017年03月31日
相手国機関名	(和)ウルグアイ国 住宅国土整備環境省(MVOTMA) 環境局(DINAMA)
相手国機関名	(英)Ministry of Housing, Spatial Planning and Environmental/ National Environmental Directorate.
プロジェクト概要 背景	..
実施体制	
(1)現地実施体制	ウルグアイ国 住宅国土整備環境省(MVOTMA) 環境局(DINAMA)
関連する援助活動	
(1)我が国の 援助活動	1) 我が国の援助活動 Cooperation of the Japanese ODA 2) 他ドナー等の援助活動 Cooperation by Other Donor Agencies, etc.
	2008年から3年間実施されたJICA技プロ「サンタルシア川流域汚染源/水質管理プロジェクト」。



個別案件(国別研修(本邦))

2016年06月18日現在

本部/国内機関 :地球環境部

## 案件概要表

案件名	(和)ラプラタ川沿岸部の水銀モニタリング・環境対策支援 (英) Training for "Diagnosis of actual situation and Action Plan design for the Remediation of coastal strip of La Plata River having an environmental burden of Mercury Sediments."
対象国名	ウルグアイ
分野課題1	環境管理-水質汚濁
分野課題2	
分野課題3	
分野分類	計画・行政-行政-環境問題
プログラム名	環境問題対策プログラム
援助重点課題	格差是正・環境保全
開発課題	環境・エネルギー問題対策
プロジェクトサイト	ラプラタ河沿岸
協力期間	2015年08月01日 ~ 2016年02月29日
相手国機関名	(和)ウルグアイ国 住宅国土整備環境省(MVOTMA) 環境局(DINAMA)
相手国機関名	(英) Ministry of Housing, Spatial Planning and Environmental/ National Environmental Directorate.
プロジェクト概要	
背景	JICAは水質保全の主管官庁である住宅・土地・環境省(MVOTMA)環境局(DINAMA)を実施機関として、2003年~2007年に開発調査「モンテビデオ首都圏水質管理強化計画調査」、2008年~2011年に技術協力プロジェクト「サンタルシア川流域汚染源水質管理プロジェクト」を実施しDINAMAの水質管理能力強化を図った。DINAMAはこれら支援を受けてモニタリング分析ラボの整備を進め、継続的な環境モニタリングを実施できるようになった。DINAMAによれば、継続的な河川水質及び底質のモニタリング結果において、ラプラタ川沿岸の河床堆積物から高濃度の総水銀が検出され、汚染源は河口部陸地にて稼働する塩素・苛性ソーダ製造工場(水銀電極法プラントを運転中)の排水と考えられる。現在のデータでは調査範囲やモニタリング・データが限定され、かつ汚染水銀の化学形態、汚染経路・メカニズムが明らかでないため、総合的な環境汚染調査が必要である。 斯かる背景の下、我が国に水銀汚染調査技術、水銀の化学的分析・解析技術、水銀汚染対処法につき支援の要請があり、専門家派遣が採択された。しかしながら、これまでの環境モニタリング案件の経験では、専門家が現地入りした際に実験に必要な細かな試薬、器具等がなく、十分な指導が果たせないことが多々あった。 2014年8月の協力計画策定調査の結果、ラボ職員を日本に招聘しラボトレーニングを実施し、帰国後、同職員が実験に必要な器具を購入したのち、専門家が調査設計、有機水銀分析技術指導で現地入りする協力が不可欠と結論づけられ、当該研修案件の要請に至った。
上位目標	水銀による影響があるサイトにおいて、人間の健康と生物相へのリスクが排除される。
プロジェクト目標	環境局が、サンタルシア川河口部底質水銀汚染の調査、分析、環境リスク評価を行い、適切な汚染対策ができるようになる。
成果	水銀汚染の濃度、化学形態(特に有機水銀)を明らかにする分析技術を習得し、本汚染地域の

環境試料(水・堆積物・土壌・生物体)の分析を行う。

活動

1) DINAMAラボから3名の技術者が本邦研修で約3週間、堆積物、土壌、水、動物や植物の試料(Biota)の有機水銀分析法の講義、ラボ分析の実習を受ける。

2) 日本の水銀汚染の歴史的背景とその対策の理解と日本の水銀汚染防止等の取組み事例を視察する。水銀対策状況とその技術に関する見学を行う。

投入

日本側投入 有機水銀分析技術の本邦研修を行う。  
DINAMAラボ技術者(3名)に係る研修費用負担。  
相手国側投入 DINAMAラボ技術者3名。

実施体制

(1)現地実施体制 ウルグアイ国 住宅国土整備環境省(MVOTMA) 環境局(DINAMA)

関連する援助活動

(1)我が国の  
援助活動

1) 我が国の援助活動 Cooperation of the Japanese ODA  
2) 他ドナー等の援助活動 Cooperation by Other Donor Agencies, etc.

2008年から3年間実施されたJICA技プロ「サンタルシア川流域汚染源／水質管理プロジェクト」。